

氏名

点数 点/100点

各論演習 16-1

問1)

次の貸借対照表（純資産の部）及び説明にあてはまる用語を語群から選び、記入しなさい。

株式会社ブリックフォール&アンバサリー商社	
貸借対照表	
1927年1月31日	
：	
純資産の部	
株主資本	
①	300,000
②	80,000
資本剰余金	
③	20,000
④	10,000
資本剰余金合計	30,000
利益剰余金	
⑤	20,000
その他利益剰余金	
配当平均積立金	30,000
新築積立金	20,000
⑥	140,000
利益剰余金合計	210,000
株主資本合計	620,000

用語	説明
①	株主の払込金額のうち、会社法の規程にもとづいて決定された一定額をいう。 なお、これを増加させることを増資といい、減少させることを減資という。
②	株式の発行に際して申込者から払い込まれた額を一時的に処理しているものをいう。
③	株主の払込金額のうち、会社法によって準備金として計上することが強制されたものをいう。
④	③以外の資本剰余金をいう。
⑤	会社が稼得した利益の留保額のうち会社法によって準備金として計上することが強制されたものいう。
⑥	当期純損益の計上などにより増減する任意積立金以外のその他利益剰余金をいう。

<語群>

資本金 ・ 資本準備金 ・ 利益準備金 ・ その他資本剰余金 ・ 繰越利益剰余金 ・ 新株式申込証拠金

解1)

①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	

氏名	
----	--

点数		点/100点
----	--	--------

各論演習 16-2

問1)

ブリックフォール&アンパサリー商社は、会社が発行する株式の総数10,000株のうち、会社設立に際してその4分の1の2,500株を1株の払込金額8,000円で発行し、全株式の払込みを受け、払込金額は当座預金とした。なお、払込金額のうち、会社法で認める最低額を資本金に組み入れることとした。そこで、当該仕訳を示しなさい。

問2)

次の一連の取引について仕訳を示しなさい。

- ① マキノン株式会社は、取締役会の決議により、未発行株式のうち700株を1株の払込金額5,000円で募集し、申込期日までに全株式数が申し込まれ、払込金額の全額を申込証拠金として受け入れ、別段預金とした。
- ② 同社は、上記の申込証拠金をもって払込金に充当し、払込期日に資本金に振り替え、同時に別段預金を当座預金に預け替えた。なお、払込金額のうち、会社法で認める最低額を資本金に組み入れることとした。

解1)

借方	貸方

解2)

	借方	貸方
①		
②		
	当座預金	

氏名

点数 点/100点

各論演習 16-3

問1)

次の取引について、当期（×1年4月1日～×2年3月31日）の仕訳を行い、繰越利益剰余金勘定に転記するとともに締め切りなさい。なお、繰越利益剰余金勘定へ記入する際は、日付、相手科目、金額を記入すること。

×1年3月31日

第1期決算において、当期純利益700,000円を計上した。

×1年6月15日

定時株主総会において、次のとおり配当および処分することが確定した。

利益準備金： 14,000円
株主配当金： 140,000円
別途積立金： 42,000円

×1年6月16日

株主配当金を小切手を振り出して支払った。

×2年3月31日

第2期決算において、当期純利益730,000円を計上した。

解1)

	借方	貸方
×1年6月15日		
×1年6月16日		
×2年3月31日 決算振替		

繰越利益剰余金

(3/31) (次期繰越)	(700,000)	3/31 損益	700,000
		4/1 前期繰越	700,000

氏名	
----	--

点数		点/100点
----	--	--------

各論演習 16-4

問1)

ルイシャム株式会社の株主総会決議および準備金減少の手続きが完了したので、資本準備金1,000,000円と利益準備金2,000,000円を取崩し、それぞれ、其他資本剰余金と繰越利益剰余金に振り替える。そこで、当該仕訳を示しなさい。

解1)

借方	貸方